事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　3年　11月　26日（　15：00～　16：00）
１．　初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	中尾　来見田　小俣　藤田　長富　能美　諏訪　河村 上野　山本　弘中　沖田　久保　武田　平尾　川本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	9人	4人	人	

前回の改善計画
効率良く情報が整理されるよう、ICFの視点をインテークの段階から取り入れ「その人」を理解しできる限り 意向を引き出していくことで、課題の明確化・アセスメント力が一定の水準になるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
日常会話の中で、その人の要望、意向、思いを引き出すよう心掛けている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？		15人	1人		
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		14人	2人		
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？		16人			
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		13人	3人		

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・初期支援の際、適切な声かけや、体調の変化、様子観察はしっかりと出来ている。 ・伝達ノート、毎日のミーティングや定例職員会議にて情報の共有は出来ている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・情報の共有は行っているが、全てのスタッフに周知されないことが多い。 ・個人個人の意思の把握が不十分である。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・全スタッフが周知出来るように口頭だけでなく、しっかりとした記録の記載を行うよう意識づけをする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　3年　11月　26日（　15：00～　16：00）
2．「～したい」の実現 （自己実現の尊重）	メンバー	中尾　来見田　小俣　藤田　長富　能美　諏訪　河村 上野　山本　弘中　沖田　久保　武田　平尾　川本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	10人	4人	人	

前回の改善計画
今の姿や生活歴だけでなく暮らしてきた姿として、価値観・生活習慣・地域性・時代性を把握し「その人らしさ」を理解することで、その人らしい生活を支え利用者の選択と責任による主体性を尊重した生活支援としての視点を持っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
以前の仕事の話等を聞いて会話が弾んだり、生活習慣や価値観の把握等は行えている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		11人	5人		
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		11人	5人		
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		9人	7人		
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？		12人	4人		

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の生活状態を把握した対応は出来ている。 ・個々に合わせた日常生活が送れるようにカンファレンスで検証している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・介護する側（スタッフ）の都合に合わせたケア、介助になる場合が多い。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・スタッフ間で情報共有出来ているが、それのみになってしまいがちである。個々の自己実現に向けたケアに繋げる為に、より踏み込んだ深い話し合いを行い、実践、対処できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　3年　11月　26日（　15：00～　16：00）
3．　日常生活の支援	メンバー	中尾　来見田　小俣　藤田　長富　能美　諏訪　河村 上野　山本　弘中　沖田　久保　武田　平尾　川本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	5人	6人	人	11人

前回の改善計画

利用者自身の大事な生活習慣や背景や要因でみえていない行動の理由を探り言葉にできない思いを引き出し
パーソンセンタードケアやユマニチュードの理念に基づいてチームケアを行い個別性を重視し主体性を尊重
した支援を行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

介護者本位、業務優先になっていることが多い。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		5人	11人		16人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1人	15人			16人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		12人	4人		16人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？		15人	1人		16人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？		14人	2人		16人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ ケアプランに沿ったケアを実践している。
・ 気分の落ち込みや顔色不良等をしっかりと観察されておりミーティングで共有出来ている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・ 時間に追われ個人の背景や気持ちよりも、施設での生活に慣れていく事に重点を置いていると感じる。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・ 利用者の不安や嬉しいこと、要望等を各担当が本人や家族から情報を聞きだし「私の姿と気持ちシート」を作成活用し、ケアに繋げる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　3年　11月　26日（　15：00～　16：00）
4．　地域での暮らしの支援	メンバー	中尾　来見田　小俣　藤田　長富　能美　諏訪　河村 上野　山本　弘中　沖田　久保　武田　平尾　川本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	7人	6人	1人	

前回の改善計画
コロナウイルス感染症予防による面会の制限や外出・イベントの自粛をしている現在、これからの支援に向けて新たな視点や方策を導きだせるよう、家族・職員・地域の担える役割を整理した上で安全対策を取りながら個別に検討していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
今年度も自粛、自粛で地域での活動が出来なかった。家族では面会禁止の中、ガラス越しでの面会等で顔を見られる安心を提供した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		15人	1人		
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		14人	2人		
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		12人	4人		
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		5人	11人		

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・面会制限あったが家族との人間関係を築くことが出来た。くるみ通信喜ばれている。 ・家族との連絡、密に出来ている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・家族との外出、行事、イベント等の中止、禁止で外部、地域との関わりが全く出来なかった。 ・決まった家族にしか声かけ出来ていない場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・コロナウイルス感染予防による自粛が無くなり次第、外出行事を行い、地域のイベントに積極的に参加したい。 家族との外出、地域との関わりも支援して行く。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　3年　11月　26日（　15：00～　16：00）
5．　多機能性ある柔軟な支援	メンバー	中尾　来見田　小俣　藤田　長富　能美　諏訪　河村 上野　山本　弘中　沖田　久保　武田　平尾　川本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	7人	7人	人	14人

前回の改善計画

対応できないニーズに対して、具体化できていなかった為、実行できないニーズについては大切に受け止め
何故実行できないかを話し合い支援の在り方や事業所の機能を見直して行くことで、ソフト面・ハード面において
今後の支援の質を向上させていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者、家族の要望は出来うる限り対応した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		8人	8人		16人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？		15人	1人		16人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？		15人	1人		16人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？		14人	2人		16人

]

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・毎日のミーティングで気づきや変化を情報交換し支援に活用出来ている。
・些細なことでもヒヤリハットが出ている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・地域の資源が活用されていない。
・ニーズもあるが、何か変化のある利用者しか「通い」に参加されていない。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・人員の問題もあるが、利用者のニーズを把握して、有料入居者の方もコンスタンスに「通い」が利用できるように調整していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　3年　11月　26日（　15：00～　16：00）

６．　連携・協働	メンバー	中尾　来見田　小俣　藤田　長富　能美　諏訪　河村 上野　山本　弘中　沖田　久保　武田　平尾　川本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	3人	8人	3人	14人

前回の改善計画

今後も地域包括支援センターと協働し地域との交流が図れるように又、施設での取り組みを知ってもらえるように
コロナ渦の中にも様々な工夫によって地域交流を作り出す事に努めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

運営推進会議1回、地域ケア会議も1回と地域交流を作り出すことが困難だった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		11人	2人	3人	16人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		5人	7人	3人	15人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		3人	3人	9人	15人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		2人	4人	9人	15人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ 他職種との会議は定期的にサービス担当者会議を開催しており、地域ケア会議等も声が掛かれば参加するようにしている。
・ 入所時の状態確認、アセスメントの為、他病院とＺＯＯＭ会議を行った。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・ 地域のイベント、交流や子供の訪問等が全くできなかった。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・ 地域包括支援センターの会議等、情報を収集し今後も参加して行きたい。
・ コロナウイルス感染予防の自粛が緩和され次第、地域活動に積極的に参加し、地域に溶け込める事業所を目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　3年　12月　7日（　15：40 ～　16：00　）
7．　運営	メンバー	中尾　来見田　小俣　長富　能美　諏訪　河村　上野 山本　弘中　沖田　武田　平尾　三木　川本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	8人	5人	人	13人

前回の改善計画

・災害時に助け合える関係作りや避難場所を提供することで、地域の一員として相互関係を構築していく。
・ご家族に意見の聞き取り調査を行うことで、問題に関する考え方を運営に反映していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・ 地域と協働の避難訓練出来なかった。
・ 家族の意見を反映し、ケアに繋げるケースはあるが、要望を言われない方の対応は出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		11人	4人		15人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		12人	4人		16人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		8人	5人	2人	15人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		5人	8人	2人	15人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ 家族には担当者が積極的に話しかけたり、電話連絡し、コミュニケーションは取れている。
・ 家族や利用者の意見を反映して話し合い、ケアに繋げている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・ 今年度は運営推進会議がほとんど行えておらず、地域からの意見や情報が上がってこない。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・ 地域の方から頂いた意見や情報を収集し、イベントの参加や地域との共同作業、行事に積極的に参加し関わって行く。地域にとって頼りになる事業所を目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　3年　12月　7日（　15：40 ～　16：00　）
8．　質を向上するための取組み	メンバー	中尾　来見田　小俣　長富　能美　諏訪　河村　上野 山本　弘中　沖田　武田　平尾　三木　川本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	7人	5人	人	12人

前回の改善計画
介護記録の種類や全体像が分かり支援・サービスが適切であるかを検討していくことで今後に生かせる 資料作りを行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
記録は大幅に変更し、個人の日常状態が把握しやすいものになった。記録の内容はまだまだ不十分である。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2人	11人	3人	2人	18人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	5人	5人	5人	16人
③	地域連絡会に参加していますか		3人	6人	6人	15人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか		14人	1人	1人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ 職場内の研修は、毎月ほとんど全員参加出来ている。
・ 転倒時は家族に連絡、頭部打撲等の際は安岡病院に連絡、受診するようにしている。
・ 些細な事柄もヒヤリハットを書いている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・ 外部研修に行けていないスタッフが多い。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

・ 外部研修に行っているスタッフと行けてない者の差がある。コロナウイルス感染予防対策もあるが、最近の研修はＺＯＯＭでのオンライン研修も多い。全員が年２回程度の研修に参加しスキルアップ出来るようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　3年　12月　7日（　15：40 ～　16：00　）
9．　人権・プライバシー	メンバー	中尾　来見田　小俣　長富　能美　諏訪　河村　上野 山本　弘中　沖田　武田　平尾　三木　川本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	9人	5人	人	14人

前回の改善計画
職員主体の考え方や実践に繋がる職場環境の要因を話し合い仕事の流れに利用者を組み込むのではなく利用者本位の支援を大切にする節度ある態度や丁寧に接することができる体制整備を行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
スタッフ本位、業務優先と感じる。意識改革が必要。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	7人	8人	1人		16人
②	虐待は行われていない	5人	11人			16人
③	プライバシーが守られている	1人	13人	2人		16人
④	必要な方に成年後見制度を活用している		4人	2人	9人	15人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2人	14人			16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束、高齢者虐待は毎年勉強会を行っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・接遇面において良いとは言えない。 ・裏紙を使用する際、個人情報を配慮してない場合がある。 ・申し送りの際、排便の有無を利用者に聞こえる声で話している。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・利用者に対し、受け取る側の気持ちを配慮して接するよう心掛ける。（声のトーン、口調含め） ・見守りが必要な為、利用者の目の届く場所での申し送りは仕方ないが、プライバシーに配慮した体制で行う。	